

のうぎょうようすい も やくわり
農業用水の持ついろいろな役割

のうぎょうようすい
農業用水(かんがい用水)



のうさくもつ そだ ため 田畑に水を送るのが大きな役割です。
 田んぼの水は地下に浸透して地下水となるほか、大雨の時は、雨水を一時的に貯めて洪水を防ぐ役割をしています。

ぼうかようすい
防火用水



かじ のとき 用水からくみ上げた水を消火活動に利用します。

せいたいけい ぼぜん
生態系の保全



のうぎょうようすい みず をながすことにより、さまざまな生物が生息する環境が保たれています。

みどり とちかいりょうく
 水土里ネットは、土地改良区の愛称(あいしょう)です。

しょうりゆうせつようすい
消流雪用水



どうろの雪をとかしたり、除雪後の雪を流したりします。

せいかつようすい
生活用水



野菜を洗ったり、農機具を洗ったりするのに利用します。

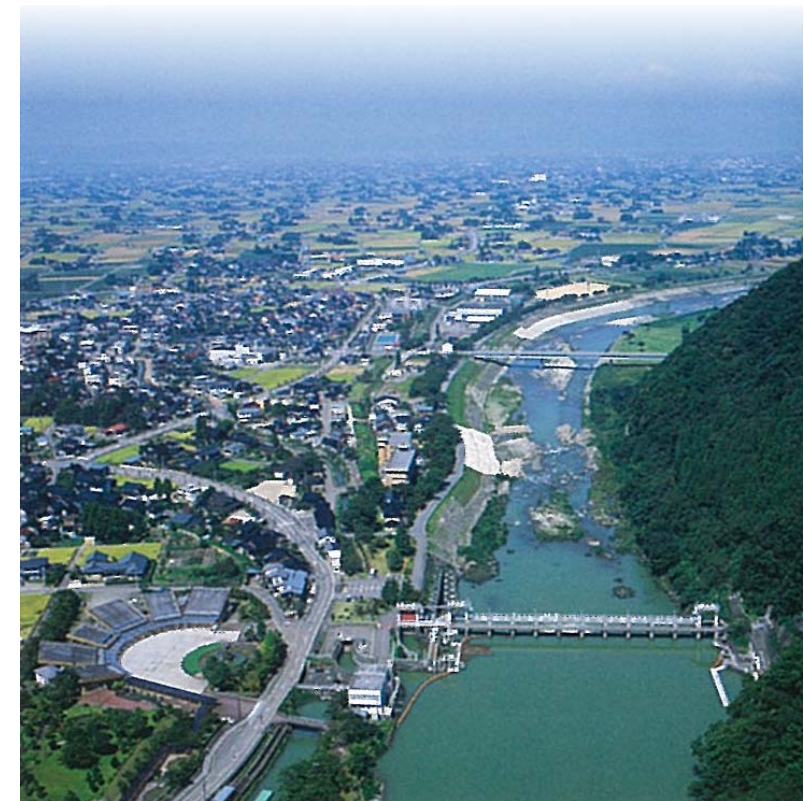
きょうえんるぎのきゅう
クリーンエネルギーの供給(水力発電)



のうぎょうようすい りよう すいりょくはつでん
 農業用水を利用して、水力発電もしています。
 かんしつこうか ぼっせい
 温室効果ガスを発生しないクリーンなエネルギーです。

のうぎょう ささ のうぎょうようすい
農業やぐらしを支える農業用水

しょうがわごうくちダム
庄川合口ダム



みんなの住む地域の水は、どこから流れてくるか知っていますか？

のうぎょうようすい たんぼでイネを育てる大切な水であり、地域にとっても

せいかつようすい りよう たいせつ みず
 生活用水として利用してる大切な水です。

そんな用水について、調べてみましょう！！



このマークは「さなえマーク」です。
 いえひと おし くだ
 家の人にも教えてあげてくださいネ！！

庄川合口ダムは、砺波市庄川町金屋地内の庄川に設置されている農業用水を取り入れる施設です。

古くから庄川平野部の農業用水は、二万石用水をはじめ左岸6ヶ所、右岸3ヶ所の取水口をそれぞれ持っていましたが、洪水のたびに土砂や流木が流れてきて取水口が被害を受けたり、日照りが続くと水が不足するなど安定して取水できませんでした。

今から約80年前の昭和5年(1930)から安定して農業用水を取り入れるダムの工事が始まり、昭和18年(1943)までの13年の年月をかけて、庄川流域の12,000ヘクタール余りの農地に農業用水(最大取水量71立方メートル/秒)を安定して供給する取水設備が完成しました。

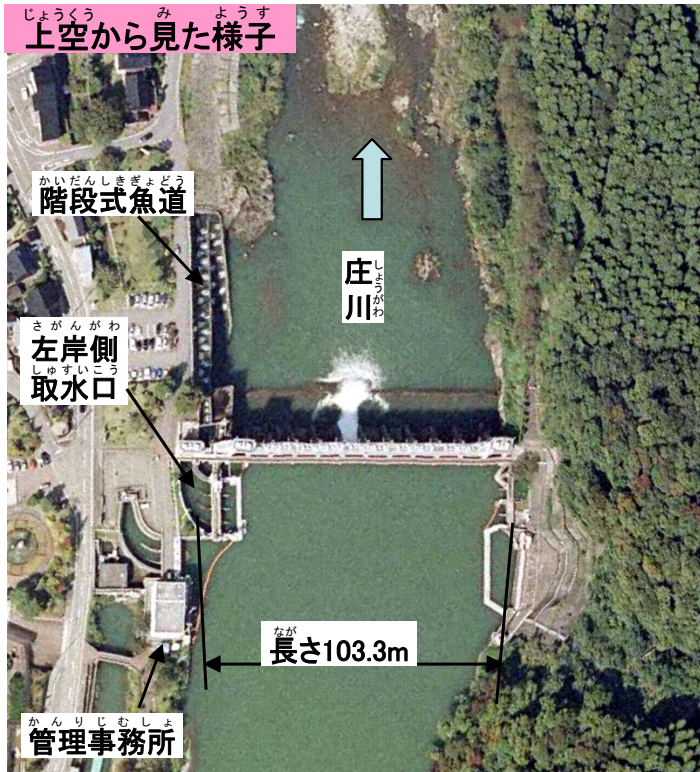
これにより、庄川扇状地は良質米の生産地として有名になり、現在に至っています。

庄川合口ダムは、平成16年に国登録有形文化財の指定を受けました。

下流から見た様子



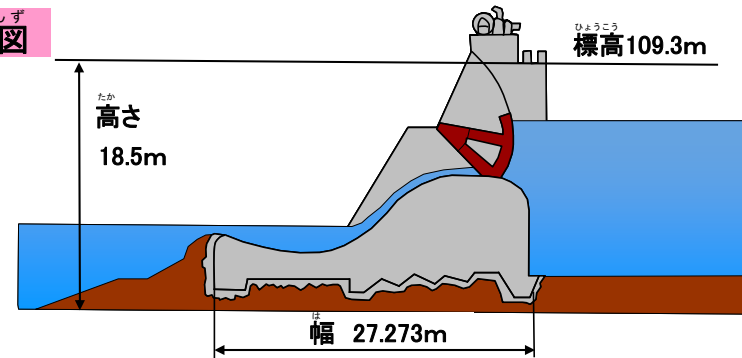
上空から見た様子



- 構造 : コンクリート造
- 長さ : 103.3m
- 高さ : 18.5m
- 貯水面積 : 156,000平方メートル
- 貯留容量 : 405,000立方メートル



断面図

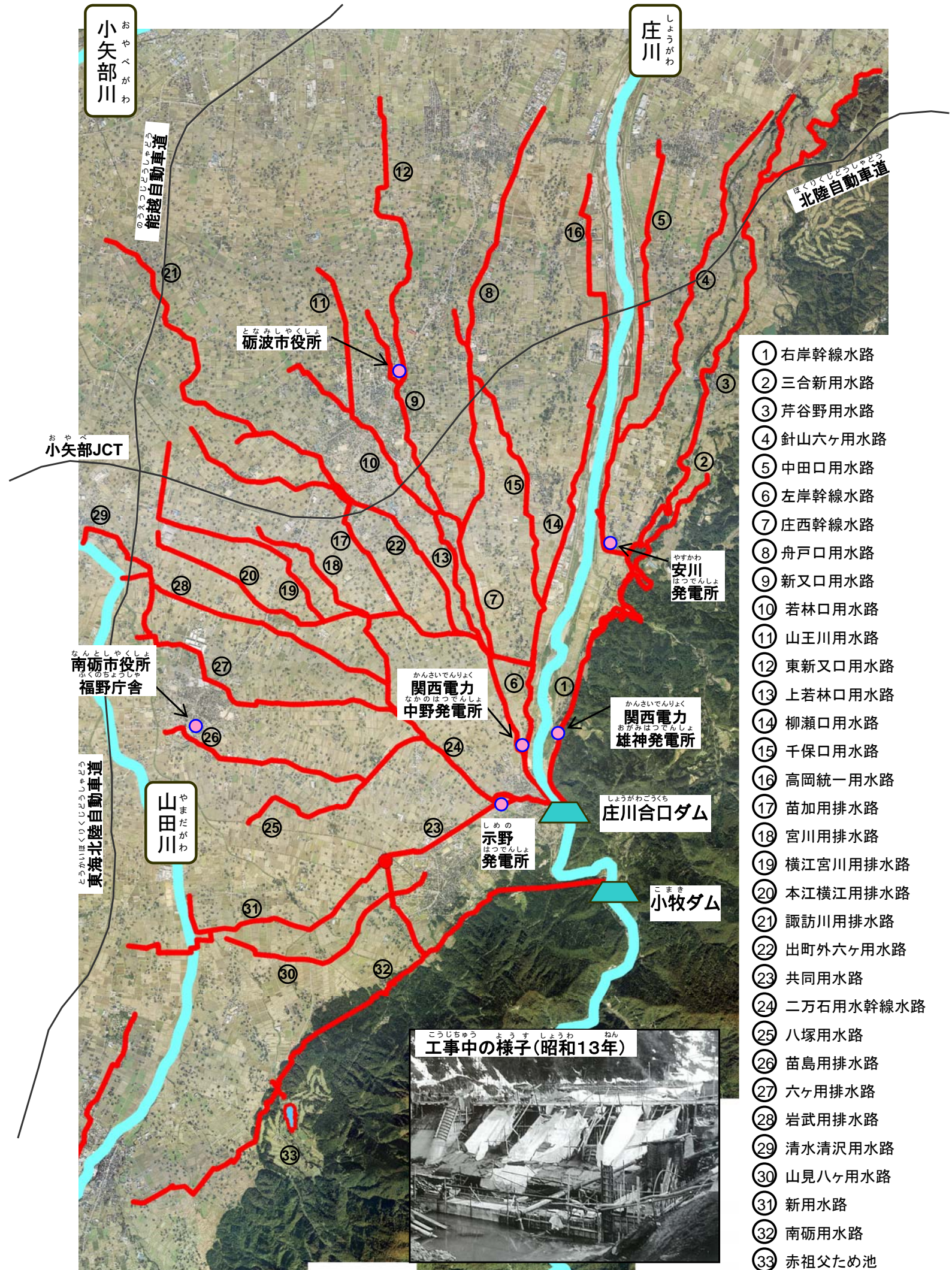


水力発電への利用

庄川合口ダムから取り入れた水は、途中で、関西電力中野発電所、雄神発電所や示野及び安川発電所で水力発電が行われています。規模の大きな中野発電所では、最大6,700キロワットの発電を行っています。



庄川合口ダムから送水しているエリア



- 右岸幹線水路
- 三合新用水路
- 芹谷野用水路
- 針山六ヶ用水路
- 中田口用水路
- 左岸幹線水路
- 庄西幹線水路
- 舟戸口用水路
- 新又口用水路
- 若林口用水路
- 山王川用水路
- 東新又口用水路
- 上若林口用水路
- 柳瀬口用水路
- 千保口用水路
- 高岡統一用水路
- 苗加用排水路
- 宮川用排水路
- 横江宮川用排水路
- 本江横江用排水路
- 諏訪川用排水路
- 出町外六ヶ用水路
- 共同用水路
- 二万石用水幹線水路
- 八塚用水路
- 苗島用排水路
- 六ヶ用排水路
- 岩武用排水路
- 清水清沢用水路
- 山見八ヶ用水路
- 新用水路
- 南砺用水路
- 赤祖父ため池

